

## 自然災害発生時における業務継続計画

法人名	合同会社Hatch研	種別	児童発達支援 放課後等デイサービス
代表者	菊池 大祐	管理者	菊池 大祐
所在地	神奈川県相模原市 中央区宮下本町2-7-11	電話番号	042-751-8500

## 1. 総論

### (1) 基本方針

#### (1) BCP 策定・運用の目的

##### ① 利用者にとって

当法人は、障害福祉事業を運営し、児童発達支援・放課後等デイサービス等の福祉サービスを提供している。地震や豪雨などの災害発生によるサービス停止が長引けば、利用者の機能低下や利用者家族の負担増大が予想されるため、災害時であっても可能な限り早急に安全管理・確認を行い、最低限のサービスについては継続していく必要がある。

##### ② 職員にとって

災害発生時にも事業を継続することにより当法人の経営を健全に保つことは、職員の雇用を守る上で重要である。また災害時の職員の安全の確保に関しても本BCPの中で併せて検討することにより職員の安全・安心や法人への帰属意識向上に繋がる。

##### ③ 地域にとって

当法人は地域の活動に参加するなど、日頃から地域と協力し活動を行っている。本BCPの中で、災害時の対応方法や地域との連携について検討することにより、地域の災害対応力向上に寄与することができ、地域における当法人の存在感の向上に繋がる。

#### (2) 本BCPの適用範囲

本BCPは、はっち宮下本町教室の周辺環境を想定した内容であり、法人の運営する各施設は、本内容をベースとして個別のBCPを策定し共有するものとする。

#### (3) 事業継続の基本方針

##### ①優先して行う業務

- ・利用者、職員の生命や生活を保護、維持するための業務を最優先業務とし、その他の業務は縮小または休止とする。

- ・特別警報が発令された場合には、障害児通所支援事業は原則中止し、業務資源の復旧状況に応じて、順次、早期に再開を目指す。

- ・法人内の施設間で連携して災害時優先業務に必要な人員、事業所、資機材等の確保、配分にあたります。

##### ②地域への協力

- ・当法人本社や各施設の近隣住民や事業所が被災し困難な状況に遭遇している際には、可能な範囲で援助、支援活動を実施する。

## (2) 推進体制

### 平常時

主な役割	部署・役職	氏名	補足
1 責任者	代表社員	菊池大祐	
2 BCP推進責任者		江草静香	
3 連絡準備担当		松下香名美	
4 救護・医療準備担当		隅越涼香・鈴木紗弥	
5 備蓄・調達担当		後藤純平・渋谷直人	
6 施設管理担当		申皓	

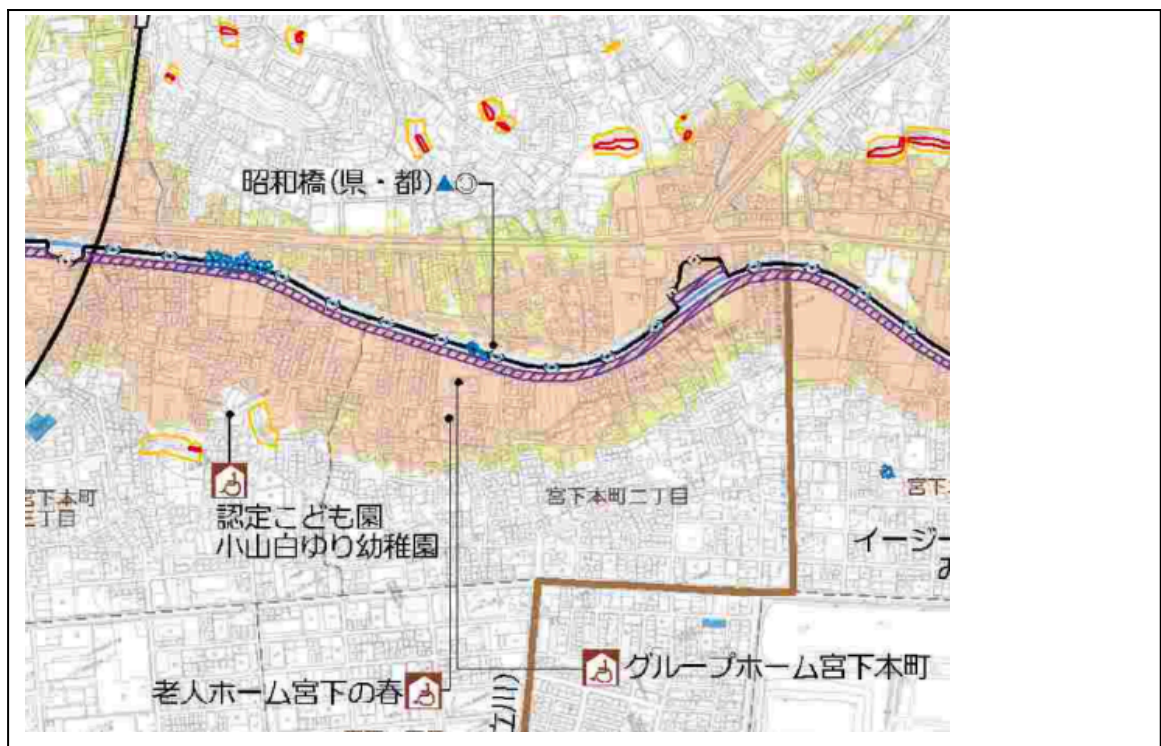
### 緊急時

主な役割	部署・役職	氏名	補足
1 責任者	代表社員	菊池大祐	
2 連絡班		松下香名美	
3 救護・医療班		隅越涼香・鈴木紗弥	
4 調達班		後藤純平・渋谷直人	
5 施設管理班		申皓	

## (3) リスクの把握

### 1 ハザードマップなどの確認

--



## 2 被災想定

大きな被害が予想される災害について、自治体が公表する被災想定を整理して記載する。

### 【自治体公表の被災想定】

#### 交通被害

道路：電線断裂、亀裂、土砂災害での通行止め

橋梁：特に記載なし

鉄道：相模線が2週間程度運休、他（横浜線）は翌日から復旧した

#### ライフライン

上水：幅広く停止

下水：幅広く停止

電気：幅広く停止

ガス：不明

通信：不明

### 【自施設で想定される影響】

	当日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
飲料水	備蓄								

生活用水	備蓄								
ガス	カセットコンロ								
携帯電話	社用携帯 4 台								
メール	社用携帯 4 台、バッテリーありのPC 5 台								
車	4台								

#### (4) 優先業務の選定

##### 1 優先する業務

通常業務は特になし

家庭で過ごすことが困難な利用者の保護

(兄弟が複数、障害があり、保護者だけでは対応が難しい場合)

優先業務	必要な職員数			
	朝	昼	夕	夜間
食事	1人	1人	1人	なし
排泄	1人	1人	1人	1人

#### (5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

##### 1 研修・訓練の実施

定期的な訓練を行う。

来所児童全員が参加する。

児童に合わせた訓練を行い、災害時の児童の取り得る行動のアセスメントを行う。

職員が緊急時の手順を実施する。

##### 2 BCPの検証・見直し

年に1回以上、災害対策委員会で協議し、責任者が承認する。

訓練内容の振り返りをし、災害時に想定されることについて最新の内容に更新する。

## 2. 平常時の対応

### (1) 建物・設備の安全対策

#### 1 人が常駐する場所の耐震措置

場所	対応策	備考
教室内	転倒する物を広場に置かない	
扉	建付けが悪い場合は整備	

#### 2 設備の耐震措置

対象	対応策	備考
棚	壁に固定	
ホワイトボード	固定する	

※設備等に関しては、定期的な日常点検を実施する。

### (2) 水害対策

最新のハザードマップを参照し、水害対策エリアに該当する場合は対策を検討する。

対象	対応策	備考
緊急連絡先の確保	社用携帯からHUGに入れるようにする	
	印刷した連絡先を鍵付き書庫に入れておく	毎月1日に更新して入れ替える

### (3) 電気が止まった場合の対策

被災時に稼働させるべき設備と自家発電機もしくは代替策を記載する。

稼働させるべき設備	自家発電機もしくは代替策
(夏) エアコン	氷・水で身体を冷やす
(冬) エアコン	毛布・マットなどで温める

### (4) ガスが止まった場合の対策

稼働させるべき設備	代替策
カセットコンロ	

(5) 水道が止まった場合の対策

1 飲料水

備蓄

45L (1日分×15人分)

- ・タンク3つ分
- ・2Lペットボトル 6本

2 生活用水

30L(1日分×15人分)

- ・タンク3つ分

(5) 通信が麻痺した場合の対策

- ・災害時伝言ダイヤルへ伝言を残す
- ・公衆電話の利用

(6) システムが停止した場合の対策

携帯電話 4台

P C 4台 (テザリングが必要)

S N S LINE 1 アカウント

(7) 衛生面（トイレ等）の対策

1 トイレ対策

【利用者】

簡易トイレの使用

【職員】

利用者の使用時に簡易トイレの設置をする

2 汚物対策

排泄物や使用済みのオムツなどの汚物の処理方法を記載する。

簡易トイレの袋をきちんと結び、屋外のポリバケツに4 5Lゴミ袋にまとめて捨てる。

(8) 必要品の備蓄（別紙参照）

(9) 資金手当て

災害に備えた資金手当て（火災保険など）を記載する。

緊急時に備えた手元資金等（現金）を記載する。

小口現金：4000円

火災保険：加入済み

### 3. 緊急時の対応

#### (1) B C P 発動基準

地震の場合、水害の場合等に分けてBCPを発動する基準を記載する。

【地震による発動基準】

震度 6 以上の地震発生時

【水害による発動基準】

宮下本町で床下浸水が起こった場合

また、管理者が不在の場合の代替者も決めておく。

管理者	代替者①	代替者②
菊池 大祐	松下 香名美	申 皓

#### (2) 安否確認

##### 1 利用者の安否確認

震災発生時の利用者の安否確認方法を検討し、整理しておく（別紙で確認シートを作成）。

なお、負傷者がいる場合には応急処置を行い、必要な場合は速やかに医療機関へ搬送できるような方法を記載する。

【安否確認ルール】

発生後、速やかに実施

- ・けが人や閉じ込められた人がいないか確認
- ・火災が発生している場合、炎が天井につきそうな場合は即避難、そうでない場合は初期消火に当たる

【医療機関への搬送方法】

負傷者がいる場合は応急手当をして、西村こどもクリニックへ運ぶ

歩ける場合は徒歩

そうでない場合は車にて搬送

##### 2 職員の安否確認

地震発生時の職員の安否確認方法を複数検討し準備しておく（別紙で確認シートを作成）。

(例) 携帯電話、携帯メール、P Cメール、S N S等

【施設内】

出勤している職員が揃っているか確認

怪我等していないか確認

【自宅等施設外】

送迎中など業務中

社用携帯にて連絡 電話→SMS

個人携帯に連絡 電話→SMS

出勤していない場合

メールアドレス宛に安否確認の連絡

返信がない場合は個人携帯へ電話→SMS

(6) 職員の参集基準

発災時の職員の参集基準を記載

- ・ 通常の勤務シフトにそって勤務可能な職員と調整
- ・ 出勤可能者がシフト外にいるかどうか確認
- ・ 最終調整を責任者の方で行う

【参集基準の対象外】

- ・ 自宅が被災している場合
- ・ 家族が被災している場合

(7) 施設内外での避難場所・避難方法

地震などで一時的に避難する施設内・施設外の場所を記載する。また、津波や水害などにより浸水の危険性がある場合に備えて、垂直避難の方策について検討しておく。

【施設内】

	第 1 避難場所	第 2 避難場所
避難場所	1 階指導訓練室	敷地内駐車スペース
避難方法	4 番の部屋の中央部に集合して座る	屋内にすることが難しい場合は、 駐車スペースに集合して座る

【施設外】

	第 1 避難場所	第 2 避難場所
避難場所	向陽小学校	
避難方法	徒歩にて移動	

(8) 重要業務の継続

優先業務の継続方法を記載する（被災想定（ライフラインの有無など）と職員の出勤率と合わせて時系列で記載すると整理しやすい）。

被災していない職員がいる場合は、出勤を相談  
利用を希望されるご家庭があるかどうか確認  
出勤率に応じて、緊急性のあるご家庭を受け入れ

## (9) 職員の管理(ケア)

### 1 休憩・宿泊場所

震災発生後、職員が長期間帰宅できない状況も考えられるため、候補場所を検討し、指定しておく。

休憩場所	宿泊場所
2 階 指導訓練室	2 階 相談室（キッチン使用）

### 2 勤務シフト

震災発生後、職員が長期間帰宅できず、長時間勤務となる可能性がある。参集した職員の人数により、なるべく職員の体調および負担の軽減に配慮して勤務体制を組むよう災害時の勤務シフト原則を検討しておく。

#### 【災害時の勤務シフト原則】

- ・通常の1日8時間以上に働くことがないように調整

(10) 復旧対応

1 破損個所の確認

復旧作業が円滑に進むように施設の破損個所確認シートを利用してチェック

<建物・設備の被害点検シート例>

対象		状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建 物・設 備	躯体被害	重大／軽微／問題なし	
	電気	通電 / 不通	
	水道	利用可能／利用不可	
	電話	通話可能／通話不可	
	インターネット	利用可能／利用不可	
	ガラス	破損・飛散／破損なし	
	キャビネット	転倒あり／転倒なし	
建 物・設 備	天井 1 階	落下あり／被害なし	
	床面 1 階	破損あり／被害なし	
	壁面 1 階	破損あり／被害なし	
	照明 1 階	破損・落下あり／被害なし	
	天井 2 階	落下あり／被害なし	
	床面 2 階	破損あり／被害なし	
	壁面 2 階	破損あり／被害なし	
	照明 2 階	破損・落下あり／被害なし	

2 業者連絡先一覧の整備

円滑に復旧作業を依頼できるよう各種業者連絡先一覧を準備しておく。

業者名	連絡先	業務内容
鯨岡さん	090-7632-3494 (社長) 090-3208-4604 (営業)	壊れた箇所の修理

6. 通所系

【平時からの対応】

- ・連絡先（携帯・勤務先）リストの更新・共有
- ・ライングループの更新、伝言ダイヤル利用法の周知
- ・事業所内容注意箇所の洗い出し

【災害が予想される場合の対応】

・宮下本町2丁目にレベル4が出た場合、閉所の連絡もしくは閉所して利用者をご家庭に送迎する。

・相模原市中央区に暴風雪警報が出た場合、閉所の連絡もしくは閉所して利用者をご家庭に送迎する。

【災害発生時の対応】

BCP計画に沿って対応

<更新履歴>

更新日	更新内容	更新者
R6年3月27日	作成	江草
R6年6月27日	担当者の更新、内容の見直し	江草
R7年9月16日	担当者の更新、内容の見直し	江草